

教科目名 世界史 (History of World)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要		
世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して, 広い教養や知識を身につけ, 物事を多面的に考える力を養う。とくに, 現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を行う。世界各地の主要な宗教の起源, 多様な国々や諸文化の成り立ち, 世界各地の戦争や紛争の歴史を講義していく。		
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)
(1) 過去とのつながりを尊重しつつ, 現代を考える力を身につける。(定期試験)		
(2) 歴史を学ぶことで, 世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解する。(定期試験)		
(3) 世界各地の多様な歴史を重視し, 平和な世界をいかに築いていくべきかについて考える。(定期試験)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1	古代の中国	【理解の度合い】
2	古代のインド	
3	古代の西アジア	
4	古代ギリシアとローマ帝国	
5	中世ヨーロッパ	
6	モンゴル帝国	
7	大航海時代	
8	明と清とオスマン帝国	
9	前期中間試験	【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説 ルネサンス	【理解の度合い】
11	宗教改革と主権国家	
12	議会王政と大西洋の三角貿易	
13	アメリカ独立革命とフランス革命	
14	ナポレオンの帝国と産業革命	
15	前期期末試験	【試験の点数】 点
16	前期期末試験の解答と解説	【理解の度合い】
17	イタリアとドイツの統一	
18	南北アメリカ諸国の展開	
19	アジア各地の植民地化	
20	帝国主義の時代	
21	辛亥革命と第一次世界大戦	
22	ロシア革命とヴェルサイユ体制 アジア各地の民族運動と世界恐慌	
23	後期中間試験	【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説 ファシズムの台頭	【理解の度合い】
25	第二次世界大戦	
26	冷戦	
27	多極化する世界	
28	EU と中東情勢	
29	地域紛争と現代の課題	
30	後期期末試験	【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説	【総合達成度】
履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り, 予習と復習をしっかりとすること。	
教科書	柴田三千雄ほか著, 『改訂版 世界の歴史 (世界史 A)』, 山川出版社。	
参考図書	随時, 授業中に紹介する。	
自学上の注意	授業で次回の範囲 (頁数) を伝えるので, 教科書を読んで予習しておく。	
関連科目	日本史, 歴史学概説, 歴史学特論 I・II (専攻科)	
総合評価	計 4 回の定期試験の平均点によって評価する。出席状況・授業中の態度により 10% を上限として減点する。総合評価が 60 点以上を合格とする。4 回の定期試験の平均点が 40 点以上 60 点未満の者には再試験を行うことがある。この場合の実施方法, 条件などは授業において明示する。	【総合評価】 点